

○県立夜間中学 校名候補とその思いや理由

	校名案	思いや理由
1	あしたば 明日葉	明日葉の花言葉にあるように、「旺盛な活動力」「未来への希望」をもって勉学に励み、将来の日本を支えて行ってほしい。
2	うみかぜ	三重県は自然豊かな土地であり、県内各地の学びたいと思っている人たちのもとに、柔らかな風で津の海の香りを届けるように、新しい学校の理念を届けたい。
3	ひかりの <sup>もり</sup> 森	夜間中学が学ぶ生徒にとっての「ひかり」であってほしい。また、わかりやすく親しみやすい名前である。
4	まなみえ	「まな」は「学ぶ」、「みえ」は「三重」から来ており、「学びが見える」という意味を込めた。また、音の響きが「学び舎」に近いことから、生徒たちが誇りをもって学ぶ場所という意味にもつながる。
5	みえ <sup>かなて</sup> 奏	音を紡いで曲（人生）を創る始まりとなる学校になってほしい。また、多様な生徒たちがそれぞれ自分のペースで学び、自分の音色を奏でることのできる学校になってほしい。
6	みえ <sup>ひびき</sup> 三重響	生徒、教職員、地域が、生徒の夢の実現に向けた願いが響き合う中学校をイメージした。また、生徒同士、生徒と教員が、年齢や国籍等を越えた、語り合い、認め合い、学び合いが響いていく中学校になってほしい。
7	みらい 未来きずな	目まぐるしい現代社会の中、さまざまな事情で学べなかった人が、自分と見つめあい学んでいくことで、未来の自分やまわりの人との関わりが増え、絆が生まれて行ってほしい。
8	ゆめ <sup>いぶき</sup> 息吹	樹木のイブキのように、誰もが新たな活力やエネルギーを持ち、喜びや希望を感じながら成長してほしい。また、「息吹」は新たな始まりを意味し、前進する勇気と夢を持ち、何度でも学び直しができる安心感を与えてくれる。
9	ゆめ 夢つむぎ	一つ一つの小さな学びや出会いをつむぎ、生徒たちが夢を叶える姿を思い描くとともに、学校や生徒たちの未来が、糸のように長くしなやかに続いて行ってほしい。
10	よつばがさき 四葉ヶ咲	四葉の1枚1枚には、それぞれ願いが込められており、まだ芽吹いたばかりの生徒たちが卒業する頃には、素敵な四葉が心の中に咲いてほしい。

(50音順)

※「思いや理由」は、校名案の応募者が記載したものを、県教育委員会で要約したものです。